

消火器の事故回避および処分等について

消火器は火災時の初期消火等においてとても有効な消防用設備です。しかしながら、誤った取扱方法や粗雑な維持管理が原因で、重大な事故や人的災害をひき起こすことにつながります。

有事の際に有効に使用できるよう、また、危険な事故を未然に防ぐため、日頃から下記の点に心掛けましょう。

1 定期的に設置場所を確認、外観を点検。

容器にサビやキズ、または変形や陥没痕などが確認されたら、容器破裂の危険が大きいため、絶対に放射したり分解したりしない。

2 使用期限を把握しておき、古くなったものは消防用設備業者等に相談。

本体に記載の使用期限を守るよう、外観点検のたびに確認しておく。

(社)日本消火器工業会で示している容器の耐用年数は、きちんと保管していても8年としている。

消火器を処分する際は一般のごみの回収には出さず、購入先、製造元または、専門業者などに相談、依頼する。

3 手にとって使用方法を確認、イメージトレーニング。

万が一の際に慌てず有効に使用するために、常日頃から操作訓練を繰り返し、慌てていても体が自然に対応できるようにしておく。

⊗ こんな消火器は 絶対に使用しない！ ⊗



容器溶接部等にサビがあるもの



放射した瞬間に破裂する危険性があります！



容器にキズ・変形があるもの

消防署では、消火器の販売、点検、引き取りなどは行っていません。

不明な点があれば、販売店、製造元、専門業者、または最寄りの消防署へお問合わせ下さい。